歌やお遊戯を元気よく披露

浦河フレンド森のようちえん発表会

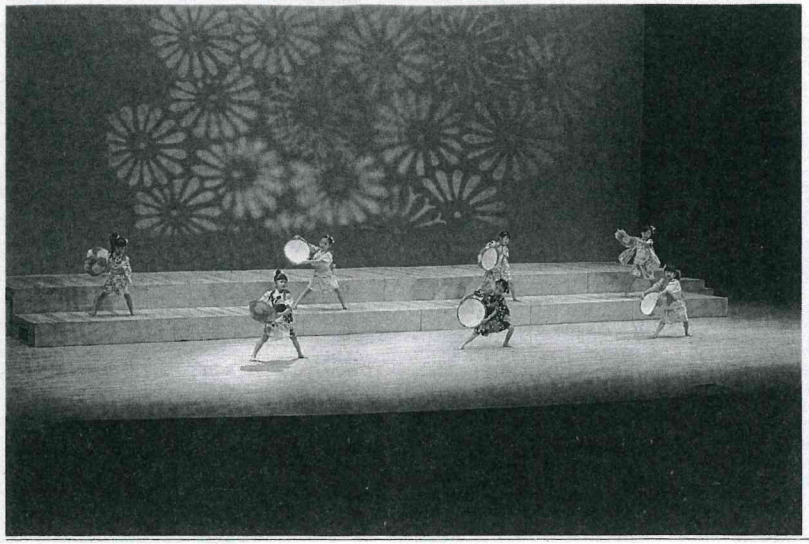
浦河フレンド森のようちえん（理事長・伊原鎮園長）は19日、浦河町総合文化会館で発表会を開催した。園児たちの歌や踊りを披露するかわいらしい姿に、観覧席からは大きな拍手が送られていた。

今年で48回目となる同園の発表会は、年長、年中、年少クラスの園児72人のほか、0～2歳児クラス34人の園児が参加。日々の活動の中で練習した歌やお遊戯、体操などを元気いっぱいに披露した。

オープニングは年長、年中、年少クラスの園児が英語のセリフなどを交えた「英語のうた」を元気よく合唱。園児たちの活動の様子を撮影したスライドショーで発表会のスタートを演出した。

発表会の前段は、0～2歳児クラスの子どもたちがドラえもんやドラミちゃん、怪獣などの姿に扮した衣装で曲に合わせて体を動かしながらのお遊戯。そのあと、年長、年中、年長クラス発表が行われ、年長クラスの女の子たちの花笠音頭、男の子たちのソーラン節の民舞をはじめ、園で体育遊びの時間に取り組んでいるマット運動や跳び箱、縄跳びで園児一人ひとりがそれぞれの得意技を披露。クラスごとのダンスのあとは、恒例の年長組による浦河豊年太鼓で発表会を締めくくった。

観覧には、多くの保護者や祖父母などの家族が訪れ、我が子の晴れ姿を納めようと熱心に動画撮影したり、発表に拍手を送るなどしながら、園児たちの成長に目を細めていた。



元気いっぱいに踊りを披露する園児たち